

献金返金114件 安倍氏銃撃後

安倍晋三元首相の銃撃事件後の約2カ月半で、統一協会(世界平和統一家庭連合)の信者の求めを受け、会員が献金を返金したケースが114件あること

を、統一協会が22日(木)に東京・渋谷の本部教会を開いた会見で明らかにしました。脱会を表明したケースも「何十件もある」としました。(統一協会取材班)

統一協会が会見

統一協会は21日(水)、改革を「こ」と回す。安倍氏の事件を進める「教会改革推進本部」を内部に設置したと発表。この日は岡本部長の勅使河原秀行氏が、顧問弁護士と一緒に来ました。

21日(水)協会が示した「改

全容把握せず

記者から返金の全貌につ

いて質問が出ましたが、勅使河原氏は「本部で全部把握する」という項目について、「通常の社会生活を困

か」と問われると「教会長ないしスタッフです」「実

効性を確認する手段でござる」と答えた。

本部と大丈夫か確認すると

「程度」「詳細は今後詰めると答えた」とあります。

難にする」「献金のために借金をする」の標準を追加しました。

安倍氏を銃撃した山上徹也容疑者の家庭の献金額について、顧問弁護士が

しかし質疑で「過度の「約一億円以上」と確認が取れていた。私の感覚では

献金」を判断するのは誰

記者会見が行われた統一協会本部(東京都渋谷区)では、正面玄関前に男性職員が立ち、来場者をチェック。協会は敷地内に「招待者以外の立入禁止 無断立入のみなし通報させて頂きます」と警告文を掲示しました。

招待されなかったジャーナリストらが玄関前に立つ職員に取材を申し込んだものの、「招待しておりませんので」と排除されました。「招待するしないの基準だけでも説明を」との間に職員らは頭を回す、「無視し続けました。

9年の刑事事件を経て、「コンプライアンス(法令順守)宣言」後に掲げた「過度な献金とならないよう配慮する」という項目について、「通常の社会生活を困

り入らじょう威嚇しました」と、東京都渋谷区